

中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																			
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																																		
02	<p>1 待ち時間の改善等 診療時間の弾力的運用など待ち時間の短縮や待ち時間の過ごし方について、待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。</p> <p>2 院内環境の快適性の向上 ・患者からの改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、全室個室化をはじめとする施設の利便性を活用し、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境づくりに取り組む。 ・外来患者に対するスムーズな受診体制を充実する。 ・食材の直接管理による良質な食事や患者個々の嗜好に合わせた主食・主菜の選択や副食の調理形態の変更に取り組む。 ・院内コンサート等、患者に安らぎを提供する行事の質の向上を図る。 ・病院運営に寄与するボランティアの積極的な受入れに取り組む。 ・総合窓口における各種案内業務の迅速な対応に努める。 ・清掃業務について、責任を明確にして機動性のある業務委託とすることによって、清潔な院内スペースの実現に努める。 ・院内売店の飲食物やアメニティグッズ等について患者ニーズを反映させる。</p>	<p>1 待ち時間の改善等 ○待ち時間対策 外来患者満足度調査の中で、待ち時間に関する意見が多くみられるため、待ち時間対策として下記事項に取り組んだ。 ・診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況に係る情報を提供 ・看護師による待合室の巡回（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）と患者への積極的な声掛けの推進 ・小児科外来における図書コーナーでの、持ち帰り可能な雑誌等の設置 ○外来診療待ち時間調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間 ・初診患者</th> <th colspan="2">25 年度</th> <th colspan="2">26 年度</th> <th colspan="2">27 年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>48</td> <td>77</td> <td>67</td> <td>81</td> <td>65</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間 ・再診患者</th> <th colspan="2">25 年度</th> <th colspan="2">26 年度</th> <th colspan="2">27 年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>166</td> <td>72</td> <td>228</td> <td>81</td> <td>176</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>56</td> <td>24</td> <td>47</td> <td>17</td> <td>46</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上 ○患者サービス向上委員会では、ご意見箱からの意見などを院内の掲示板でフィードバックしているほか、院内環境改善についての要望など</p>	待ち時間 ・初診患者	25 年度		26 年度		27 年度		人数	%	人数	%	人数	%	なし	48	77	67	81	65	87	1～30分	10	16	12	14	9	12	31～60分	1	2	4	5	1	1	61分以上	3	5	0	0	0	0	待ち時間 ・再診患者	25 年度		26 年度		27 年度		人数	%	人数	%	人数	%	なし	166	72	228	81	176	76	1～30分	56	24	47	17	46	20	31～60分	7	3	7	2	9	4	61分以上	3	1	0	0	1	0	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>全体に努力の跡が見られ、目標は達成しているとみなしたい。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり、実施している。</p>	<p>「III」</p> <p>年度計画どおり実施している。</p>
待ち時間 ・初診患者	25 年度			26 年度		27 年度																																																																																	
	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																	
なし	48	77	67	81	65	87																																																																																	
1～30分	10	16	12	14	9	12																																																																																	
31～60分	1	2	4	5	1	1																																																																																	
61分以上	3	5	0	0	0	0																																																																																	
待ち時間 ・再診患者	25 年度		26 年度		27 年度																																																																																		
	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																	
なし	166	72	228	81	176	76																																																																																	
1～30分	56	24	47	17	46	20																																																																																	
31～60分	7	3	7	2	9	4																																																																																	
61分以上	3	1	0	0	1	0																																																																																	

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																				
	<p>3 医療に関する相談体制の充実 苦情等へ迅速な対応ができる相談受付窓口の更なる活用を図るとともに、接遇研修会等を通じて職員の接遇意識の向上に努める。 また、検査や薬の相談窓口を開設（医師説明の補助）するほか、放射線被ばくの専門知識を有した被ばく相談員を配置する。</p> <p>4 患者中心の医療の提供 地域で信頼される開かれた医療機関となることを目指し、患者の権利（安全・平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できる等）の保証と職員への周知、医療従事者としての倫理観の確立に努める。 また、ピンクリボンキャンペーンの趣旨に賛同し、働く女性に対する休日の検診体制の充実を図る。</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンを推進する。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、地域の代表者等との意見交流を行うなどその結果を病院運営に反映させ</p>	<p>を検討し、改善に努めた。 ○病院内の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も患者サービス向上委員会が主体となって病院周辺の清掃を9月17日に行う計画を立てたが、2度の雨天により中止となった。 ○個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者を訪問し、栄養管理指導を行った。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養管理計画書作成件数</td> <td>1,867件</td> <td>1,706件</td> <td>1,360件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※医師指示分のみを実施 ○平成27年10月31日に開催した「病院まつり」では、コンサートや健康相談、栄養・感染防止・摂食嚥下・床ずれ防止・スキンケア・ベビークラス等の相談・指導を行った。（来場者数300名＋職員ボランティア110名）</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実 ○医療相談室には、社会福祉士2名、看護師3名の計5名の職員が常駐しており、患者・家族からの医療情報に関する相談・苦情について対応した。問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>2,038件</td> <td>1,649件</td> <td>2,654件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○接遇マナー5原則（1表情、2態度、3挨拶、4身だしなみ、5言葉遣い）をもとに、強化月間を設けポスターの掲示や呼びかけを行った後アンケートを行い達成度の評価をした。（看護部2回/年、全体1回/年）接遇マナーチェックシートを、H27.10月に、委託職員を含む443名に配布98%の回収率であった。</p> <p>【マナーチェック結果】 ※設問毎の平均割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>「概ねできている」以上の回答割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>93.9%</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>92.2%</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>84.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供 ○カルテ等の医療情報開示は、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じ対応した。 【カルテ開示請求件数・開示件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>4件</td> <td>5件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>4件</td> <td>5件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	栄養管理計画書作成件数	1,867件	1,706件	1,360件	項目	25年度	26年度	27年度	医療福祉相談	2,038件	1,649件	2,654件	項目	「概ねできている」以上の回答割合	態度・表情等	93.9%	身だしなみ	92.2%	電話対応	84.7%	項目	25年度	26年度	27年度	請求件数	4件	5件	10件	開示件数	4件	5件	10件			
	25年度	26年度	27年度																																						
栄養管理計画書作成件数	1,867件	1,706件	1,360件																																						
項目	25年度	26年度	27年度																																						
医療福祉相談	2,038件	1,649件	2,654件																																						
項目	「概ねできている」以上の回答割合																																								
態度・表情等	93.9%																																								
身だしなみ	92.2%																																								
電話対応	84.7%																																								
項目	25年度	26年度	27年度																																						
請求件数	4件	5件	10件																																						
開示件数	4件	5件	10件																																						

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
		<p>○ピンクリボンキャンペーン (乳がん検診の早期受診推進運動) への賛同 マンモグラフィー (乳房X線診断装置) 乳がん無料検診を実施 (平成 27 年 10 月 18 日 (日))。平成 23 年度から経費の一部は寄付金を活用し ており、検査料は無料 (定員 30 名) とし、27 年度は 29 名が受診した。</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 患者・その家族には、インフォームドコンセントの徹底を図り、規程 に基づく同意を得たうえで治療に取り組んだ。 ・入院時の入院治療計画の提示 ・手術や検査の事前説明</p> <p>【セカンドオピニオン実施件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>0 件</td> <td>3 件</td> <td>3 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※セカンドオピニオン外来は標榜しておらず、一般外来として受け入れ。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <p>○患者満足度調査 退院時アンケート調査を 1 回実施 (11 月：1 ヶ月間) 対象患者：退院 188 名、回答者 128 名 (回収率 68%) ・職員の態度・治療に対する説明など計 5 項目 「良い」以上の評価割合 職員の状態：91.4% 身だしなみ：96.9% 傾聴：94.5% プライバシー配慮：88.3% 説明：89.1%</p> <p>○地域住民との交流 ・「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に 健康チェック・健康相談を行い地域の人々との交流に努めた。 27 年度 2 回実施 (利用者 234 名) ・下呂温泉祭り行事協力 「龍神火祭り」「花火」「いで湯卓球大会」等救護班 8 名 「龍神火祭り」でお病院職員が御興の担ぎ手としても参加し、地域の方々と病 院職員の交流に努めた。</p> <p>○院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内 の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が 中心になり改善に努めた。 ・御礼・感謝 8 件、苦情 14 件、要望 18 件、その他 1 件 計 41 件</p>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	外来受入	—	—	—	他院紹介	0 件	3 件	3 件			
項目	25 年度	26 年度	27 年度														
外来受入	—	—	—														
他院紹介	0 件	3 件	3 件														
05	<p>2 専門的なリハビリテーション治療の実施 これまで当院が担ってきた県下の地域リ ハビリテーションの基幹的な病院として、地 域リハビリテーションの普及及び人材養成</p>	<p>2 専門的なリハビリテーション治療の実施 平成 26 年度以降、休日を含めて週 7 日間リハビリテーションが提供でき る体制を整備したことにより、入院当初から集中的なリハビリテーションを 継続して受けられるようになった。 ・呼吸認定療法士を新たに 2 名養成し、計 3 名とすることにより、急</p>	IV		<p>褥瘡ケア指導やリハビリの充実に努力さ れており、地域の特殊性を考慮した取組と して評価できる。 また、認知機能低下予防リハビリ研修 (集</p>												

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
	<p>に加えて、医療及び介護における役割分担を踏まえ、患者の疾病及び症状に応じた、きめ細やかなリハビリテーションを実施するとともに、急性期医療から在宅までを見据えた地域連携による地域密着型の一貫したリハビリテーション提供体制を確立する。</p> <p>特に、次の事項に重点的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の患者にあったリハビリテーションプログラムの作成及び実施 ・急性期医療においては、廃用症候群を予防し、合併症に注意しつつ十分なリスク管理の下、早期離床を目的に、座位・立位、歩行、摂食・嚥下訓練などの積極的なリハビリテーション治療の実施 ・身体機能の中で、より複雑な動きが求められる手のリハビリテーションの充実 ・リウマチ患者に対する生活指導、相談等を行う教育入院の実施 ・高齢化の増加に伴い認知症患者の増加が見込まれる中、早期診断方法及びリハビリテーションを組み合わせた認知症の予防・治療体制の確立 ・福祉住環境コーディネーター2級以上のライセンスを持った理学療法士・作業療法士による退院後の生活を見据えた質の高い住宅環境整備の指導の実施 ・専門的知識を持った理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による障がい児療育支援の実施 ・地域の介護・福祉機関との連携の強化 <p>4 予防医療の推進</p> <p>「生活の場の医療」の中で予防医学の基本となる健診を実施し、下呂市の集団検診は、市内全域から受け入れ、特に旧下呂町の6地区の受診機関として引き続き指定を受け、日曜健診にも取り組み、受診の向上を図る。こうした積極的な健診の取り組みとともに、市・医療機関と連携し予防医療を推進する。</p> <p>また、平成27年度も引き続き、下呂市の勤労者に対する日曜健診体制の充実に取り組む。</p> <p>脳機能低下予防研究会による認知症患者</p>	<p>性期リハビリテーションの充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早期離床アドバイザー」の取得を目指し、1名が早期離床講習会を受講。 ・「福祉住環境コーディネーター」2級以上のライセンスを平成27年度中に3名が取得し、退院後の生活を見据えた住環境整備の指導に当たった。 ・疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリの実施 (患者数) 手外科リハビリテーション 25名 小児リハビリテーション 33名 : 再掲(項目03) <p>【リハビリテーションの実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>26,036人</td> <td>25,392人</td> <td>30,141人</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>72,444単位</td> <td>72,249単位</td> <td>87,403単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 予防医療の推進</p> <p>○下呂地域脳機能低下予防研究会 下呂地域における「早期認知症予防システムの構築」を目指し、下呂市(地域包括センター)及び下呂市医師会及び薬剤師会と連携し、「認知症早期発見のための下呂式簡易知能検査」や「予防リハビリ」について検討を進めるとともに、地域シニアクラブの協力を得て、実際に試行することにより、その手法と有効性について検証を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症低下予防リハビリ研修(集団指導) H28/1/15,26 延べ参加者41名(参加クラブ数1) ・予防リハビリ指導(院内個別指導) 症例数4、延べ23回 <p>5 在宅療養支援体制の構築及び推進</p> <p>○介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導 当院の皮膚・排出ケア認定看護師による褥瘡相談(指導)体制を確立すると同時に、関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行った。</p> <p>※関係施設職員褥瘡ケア指導 18回</p>	項目	25年度	26年度	27年度	実人数	26,036人	25,392人	30,141人	疾患別リハ実施数	72,444単位	72,249単位	87,403単位			<p>団指導)については、更なる拡大・充実に期待する。</p>
項目	25年度	26年度	27年度														
実人数	26,036人	25,392人	30,141人														
疾患別リハ実施数	72,444単位	72,249単位	87,403単位														

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																												
	<p>の早期発見、早期リハビリ等に取り組む(下呂方式による認知症判定の実績づくり)。 ※下呂方式…下呂地域で独自に開発を進めている認知症の有無の診断前に、認知症の疑いがあるのかないのかどうかを簡易的に判定するスクリーニングテスト</p> <p>5 在宅療養支援体制の構築及び推進 地域における効率的かつ効果的な医療提供体制を確保することとして、当院においては、地域包括ケア病院機能を更に充実させ、急性期病棟からの受皿として、在宅復帰支援に向けチーム医療の強化、推進を図る。 認定看護師などの専門性の高い能力を活用し、在宅で療養している患者、家族が安心して療養生活ができるよう相談窓口として、「在宅療養支援センター」を設置するとともに訪問看護ステーションや施設も連携した訪問指導の充実を図る。</p>																																																																
09	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ 看護学生の病院実習の受入れ体制の充実に努める。また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師等のコメディカル学生についても積極的に受入れを行う。</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士などの病院実習の受入れ及び研修体制の充実に努める。</p>	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ ○医学生の実習受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>4 名</td> <td>4 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護学生の実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>73 名</td> <td>87 名</td> <td>90 名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>5 名</td> <td>5 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>2 名</td> <td>3 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78 名</td> <td>94 名</td> <td>98 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○コメディカル等の実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>9 名</td> <td>7 名</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9 名</td> <td>7 名</td> <td>10 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施</p>	項 目	25 年度	26 年度	27 年度	医学生	4 名	4 名	0 名	学校名	25 年度	26 年度	27 年度	下呂看護専門学校	73 名	87 名	90 名	岐阜県立看護大学	5 名	5 名	5 名	その他	—	2 名	3 名	計	78 名	94 名	98 名	職種	25 年度	26 年度	27 年度	理学療法士	9 名	7 名	9 名	作業療法士	—	—	—	言語聴覚士	—	—	1 名	薬剤師	—	—	—	管理栄養士	—	—	—	社会福祉士	—	—	—	計	9 名	7 名	10 名	III		<p>実習等の受入れについて、今後の取組に期待する。</p>
項 目	25 年度	26 年度	27 年度																																																														
医学生	4 名	4 名	0 名																																																														
学校名	25 年度	26 年度	27 年度																																																														
下呂看護専門学校	73 名	87 名	90 名																																																														
岐阜県立看護大学	5 名	5 名	5 名																																																														
その他	—	2 名	3 名																																																														
計	78 名	94 名	98 名																																																														
職種	25 年度	26 年度	27 年度																																																														
理学療法士	9 名	7 名	9 名																																																														
作業療法士	—	—	—																																																														
言語聴覚士	—	—	1 名																																																														
薬剤師	—	—	—																																																														
管理栄養士	—	—	—																																																														
社会福祉士	—	—	—																																																														
計	9 名	7 名	10 名																																																														

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
		及び充実 ○下呂市消防本部の救急救命士の病院実習受入れ実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業前教育実習</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>20 名</td> <td>22 名</td> <td>23 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>2 名</td> <td>- 名</td> <td>- 名</td> </tr> <tr> <td>消防学校病院実習</td> <td>2 名</td> <td>5 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26 名</td> <td>29 名</td> <td>26 名</td> </tr> </tbody> </table>	実習項目	25 年度	26 年度	27 年度	就業前教育実習	2 名	2 名	2 名	再教育実習	20 名	22 名	23 名	薬剤投与実習	2 名	- 名	- 名	消防学校病院実習	2 名	5 名	1 名	計	26 名	29 名	26 名			
実習項目	25 年度	26 年度	27 年度																										
就業前教育実習	2 名	2 名	2 名																										
再教育実習	20 名	22 名	23 名																										
薬剤投与実習	2 名	- 名	- 名																										
消防学校病院実習	2 名	5 名	1 名																										
計	26 名	29 名	26 名																										
12	<p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開（出前）講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に関する情報の提供や発信を行う。 また、他の機関が主催する住民等に対する講師派遣についても積極的に協力している。</p> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供 岐阜県立下呂温泉病院広報誌「健康と医療」を発行するとともに、病院が有する保健医療情報についてもホームページで公開するよう努める。 地域住民を病院に招いて色々な医療機器の見学・説明等や、最近の医療の進歩等の講演会を行う病院まつりの開催など、病院を知ってもらう活動に取り組む。 また、中学生を対象に、医療従事者の業務を体験してもらい、将来の職業選択に役立ててもらおう取り組みを行う。</p>	<p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ○公開講座等の実施状況 また県看護協会主催の「まちの保健室」等にも主体的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マタニティエクササイズ 妊娠中の運動 エクササイズ等（計10回 延べ20人） ・ベビーピクス ベビーマッサージ、エクササイズ等（計13回 延べ83人） ・分娩準備クラス お産の仕組み、入院方法、呼吸法等（計11回 延べ79人） ・益田清風高校文化祭への出展「命をありがとう」 妊婦体験、産道体験、赤ちゃんを抱く体験など ・「命のふれあい講座」（受講：中学生284名） 下呂市内の全中学校で助産師を派遣し、妊婦体験など ・摂食えん下障害看護学習会 摂食・嚥下障害の基本的事項・口腔ケア・訓練など2時間 院外参加者41名（N s12名、介護職18名、その他11名） 院内参加者18名 ・褥瘡対策研修会出前講座 褥瘡の基礎、リスクアセスメント等 （9施設、延べ18回、延べ570名受講） ・褥瘡対策研修会市民講座 4会場、4回、延べ62名受講 ・感染対策研修会出前講座（4回延べ120名） 而性菌とマイコプラズマ(40名)、ノロウイルスとインフルエンザ(25名) 冬の感染症と疥癬(40名)、病院感染症対策(15名) <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供 ○病院広報誌の発行 「健康と医療」を6月と12月に各3,000部を発行。圏域の開業医・自治会・福祉関係施設など52の関係者や団体に配布。診療科の紹介や地域包括ケア病棟等の情報提供を行った。 ○地域医師会等主催講演会への参加 地域医師会等主催の学術講演会に当院医師・看護師が講師、座長とし</p>	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV 年度計画を上回っており、全体に努力の跡が見られる。</p> <p>IIIのまま 年度計画どおり、実施している。</p>	<p>「III」 年度計画どおり、実施している。</p>																								

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																
		<p>て参加。症例検討や講演などにより、医療情報の提供を行った。 【講師等で参加した回数・人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>15 回</td> <td>14 回</td> <td>8 回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>30 名</td> <td>14 名</td> <td>18 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護学生インターンシップ 1回/年 参加者2名 ○国際助産師の日イベント 14名参加 ベビービクス、母乳育児相談の実施 ○ふれあい看護体験2回/年 中高生を対象とした医療従事者の業務体験 中学生対象 17名参加 高校生対象 20名参加</p>		25 年度	26 年度	27 年度	回数	15 回	14 回	8 回	人数	30 名	14 名	18 名							
	25 年度	26 年度	27 年度																		
回数	15 回	14 回	8 回																		
人数	30 名	14 名	18 名																		
19	<p>病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となる職員を計画的に確保するとともに、職員には診療報酬事務、病院経営等の専門研修に積極的に出席させるなど、事務部門の専門性の向上に努める。また、病院経営幹部職員も各種病院マネジメント研修を受講し、経営改善に役立てる。事務部門における診療部門の支援・強化を図るため、事務職員の診療情報管理士及び医療情報技師の資格取得を支援する。</p>	<p>事務部門の専門性の向上 【事務職員の状況】 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー</td> <td>13 名</td> <td>16 名</td> <td>19 名</td> </tr> <tr> <td>県派遣</td> <td>13 名</td> <td>9 名</td> <td>8 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26 名</td> <td>25 名</td> <td>27 名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25 年度	26 年度	27 年度	プロパー	13 名	16 名	19 名	県派遣	13 名	9 名	8 名	合計	26 名	25 名	27 名	III		事務部門のプロパー職員数が増加しており、さらなる専門性の向上に期待したい。
区分	25 年度	26 年度	27 年度																		
プロパー	13 名	16 名	19 名																		
県派遣	13 名	9 名	8 名																		
合計	26 名	25 名	27 名																		
20	<p>県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、医療情報の情報開示については、岐阜県個人情報保護条例及び岐阜県情報公開条例に基づき、適切に対応する。職員に対しては、コンプライアンスについて研修するなど意識啓発に関する取組を実施するほか、監事監査や内部監査などによる検証・評価に努める。</p>	<p>医療情報の情報開示については、岐阜県個人情報保護条例及び岐阜県情報公開条例に基づき、適切な対応を行った。</p>	III		今後一層の努力を期待する。																
21	<p>1 情報セキュリティ対策の推進 情報セキュリティ基本方針・対策基準に基づく業務の情報セキュリティ対策の充実及びチェック体制の確立に努めるとともに、職員等を対象に院内研修を実施し情報セキュリティ意識の向上に取り組む。</p>	<p>院内の情報セキュリティ対策の充実及びチェック体制の確立のため内部組織を変更し、平成28年度より経営企画課に情報担当を置くこととした。</p>	III		今後一層の努力を期待する。																
23	<p>1 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用 病床稼働率については、常勤医師の確保により入院患者数の増加を目指すとともに</p>	<p>1 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用 病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施。「地域包括ケア病棟」について、これまでの東4病棟に加えて、3月から西4病棟を新設し、効率的な運</p>	III	評価の検討	「III」																

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																								
	<p>に、病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理を徹底する。</p> <p>また、開放型病床の活用に努め、地域の医療機関と共同で治療を行うことにより、病診連携の強化とともに収益確保を図る。</p> <p>医療機器については、医師確保により稼働率の向上を目指すとともに、有効活用の視点から開業医等の受診促進に努める。</p> <p>平成26年度に実施した「診療科別スループットベンチマーク報告」を活用し、診療科毎の収益改善、医業費用の効率向上や削減に向けて取り組んで行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPCデータ提出加算の取得によるデータ分析及び活用 ・地域包括ケア病棟の増床(指定)に向けた体制の整備 <p>2 未収金の発生防止対策等</p> <p>公的制度を可能な限り利用し、患者窓口負担の軽減を図るといった未収金の発生防止策を進めるほか、発生した未収金に対しては、分納制度等の支払いやすい方法を提示して、未収金の回収に努める。使用料・手数料については、県内の公立病院及び民間病院の状況を把握することで、適正な使用料・手数料の算定ができるよう努める。</p> <p>また、未収金発生リスクの軽減を図るため、クレジットカード収納導入の検討を行う。</p> <p>未収金回収における少額訴訟制度の活用について、対象者リストを作成して顧問弁護士に相談を行うことを引き続き進める。</p> <p>3 施設基準の取得</p> <p>非常勤医師の常勤化や経験年数等の資格を満たした医師の確保、医療スタッフの採用等により新たな施設基準の取得を目指す。</p> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <p>国の医療制度改革や診療報酬改定等につ</p>	<p>用による入院収益の向上を図った。</p> <p>○病床利用率(新病院:26年5月分から)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東3</td> <td>51.1%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>東4(包括ケア)</td> <td>63.6%</td> <td>77.1%</td> </tr> <tr> <td>東5</td> <td>86.6%</td> <td>84.1%</td> </tr> <tr> <td>西3(回復期)</td> <td>82.9%</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>西4(包括ケア)</td> <td>63.6%</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>西5</td> <td>74.2%</td> <td>70.2%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>70.5%</td> <td>74.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 届出病床数206床 注2) 東4: H26.9~地域包括ケア病棟移行 注3) 西4: H28.3~地域包括ケア病棟移行</p> <p>○その他の指標(単位:収益:千円,単価:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>58,640名</td> <td>52,188名</td> <td>55,812名</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>161名</td> <td>143名</td> <td>153名</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>17.8日</td> <td>15.1日</td> <td>14.4日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,250,082</td> <td>2,052,001</td> <td>2,067,139</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>38,371</td> <td>39,319</td> <td>37,038</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>88,223名</td> <td>86,434名</td> <td>87,224名</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>362名</td> <td>354名</td> <td>359名</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>936,362</td> <td>973,889</td> <td>1,004,303</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>10,614</td> <td>11,267</td> <td>11,523</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>18,077</td> <td>7,553</td> <td>8,207</td> </tr> <tr> <td>受診検査収益</td> <td>2,490</td> <td>2,209</td> <td>1,976</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く 注2) 金額は税込で表示</p> <p>2 未収金の発生防止対策等</p> <p>未収金発生防止については、入院費用等に高額療養費限度額適用(現物給付)や出産育児一時金直接支払制度利用等努めるとともに、医療相談により、各種福祉制度の申請や市の福祉担当者との連携を図るなど、診療費の負担軽減に努めた。</p> <p>発生した未収金に対しては、電話や臨宅による催告を必要に応じて実施し、分納制度を活用するなどして回収に努めた。</p>	病棟	26年度	27年度	東3	51.1%	63.3%	東4(包括ケア)	63.6%	77.1%	東5	86.6%	84.1%	西3(回復期)	82.9%	92.5%	西4(包括ケア)	63.6%	60.0%	西5	74.2%	70.2%	全体	70.5%	74.0%	項 目	25年度	26年度	27年度	入院延患者数	58,640名	52,188名	55,812名	1日平均入院患者数	161名	143名	153名	平均在院日数	17.8日	15.1日	14.4日	入院収益	2,250,082	2,052,001	2,067,139	入院診療単価	38,371	39,319	37,038	外来延患者数	88,223名	86,434名	87,224名	1日平均外来患者数	362名	354名	359名	外来収益	936,362	973,889	1,004,303	外来診療単価	10,614	11,267	11,523	室料差額収益	18,077	7,553	8,207	受診検査収益	2,490	2,209	1,976		<p>Ⅲ→Ⅳ</p> <p>年度計画を上回っており、困難な環境の中でも、細やかな努力が認められる。</p> <p>Ⅲのまま</p> <p>年度計画どおり、実施している。</p>	<p>年度計画どおり、実施している。</p>
病棟	26年度	27年度																																																																											
東3	51.1%	63.3%																																																																											
東4(包括ケア)	63.6%	77.1%																																																																											
東5	86.6%	84.1%																																																																											
西3(回復期)	82.9%	92.5%																																																																											
西4(包括ケア)	63.6%	60.0%																																																																											
西5	74.2%	70.2%																																																																											
全体	70.5%	74.0%																																																																											
項 目	25年度	26年度	27年度																																																																										
入院延患者数	58,640名	52,188名	55,812名																																																																										
1日平均入院患者数	161名	143名	153名																																																																										
平均在院日数	17.8日	15.1日	14.4日																																																																										
入院収益	2,250,082	2,052,001	2,067,139																																																																										
入院診療単価	38,371	39,319	37,038																																																																										
外来延患者数	88,223名	86,434名	87,224名																																																																										
1日平均外来患者数	362名	354名	359名																																																																										
外来収益	936,362	973,889	1,004,303																																																																										
外来診療単価	10,614	11,267	11,523																																																																										
室料差額収益	18,077	7,553	8,207																																																																										
受診検査収益	2,490	2,209	1,976																																																																										

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
	<p>いては、情報収集を行い速やかに対応する。</p>	<p>回収困難な案件の中には、顧問弁護士と連携して少額訴訟手続きを進めることによって、自主納付された例があった。 28年度以降においても、少額訴訟の活用等により、積極的な未収金回収を推進する。</p> <p>3 施設基準の取得 地域に必要な病床機能を確保するため、平成28年3月より地域包括ケア病棟入院料Ⅰの算定病棟を増やし、2病棟とした。 その他、以下の施設基準を届出・算定開始。 <基本> ○データ提出加算2 H27.4.1 取得 <特掲> ○在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 H27.4.1 取得 ○輸血管理料Ⅱ H27.11.1 取得 ○輸血適正使用加算 H27.11.1 取得</p> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 診療報酬の改定に対応するため、医事課及び経営企画課職員が、外部で行われた各種研修会へ参加するとともに、院内各部署への説明会を行った。</p>															
25	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを目指す。</p>	<p>【経常収支比率】(●) 年度計画の設定比率89.5%に対して、決算では86.6%となり、2.9ポイント計画を下回った。 【職員給与費対医業収益比率】(●) 年度計画における比率71.8%に対し、決算では80.9%と9.1ポイント下回った。医師確保や看護体制の維持のために必要な人件費に対し、それに見合う収益が得られなかったことが、計画を下回った要因となっている。 来期以降も引き続き経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指して経営努力を続けていく。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>95.9%</td> <td>81.6%</td> <td>86.6%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益</td> <td>79.2%</td> <td>83.3%</td> <td>80.9%</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	経常収支	95.9%	81.6%	86.6%	職員給与費対医業収益	79.2%	83.3%	80.9%	II		<p>経常収支比率や職員給与費対医業収益比率の改善について、さらに努力されたい。</p>
	25年度	26年度	27年度														
経常収支	95.9%	81.6%	86.6%														
職員給与費対医業収益	79.2%	83.3%	80.9%														

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																								
26	<p>1 職員の就労環境の整備 医療従事者の業務負担を軽減するため、必要な人数の確保に努めるとともに、時間外勤務の縮減等の勤務環境の改善を図る。また、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態の導入等次の対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変則2交代制や2交代制等、多様な勤務形態の導入による人員の確保に努め、看護職員の業務負担の軽減を図る。 ・院内相談窓口の機能を強化する。 ・ワークライフバランスの 向上、労務管理の手引き書の作成に取り組む等就労環境の整備を行う。 ・新卒看護職員卒後研修や再就職支援研修を開催し、看護実践能力の習得を支援する。 ・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を 目指し、学会等へ参加する機会の確保と、病院内 における研修会、講演会等の開催に努める。 <p>2 職員の健康管理対策の充実 職員の身体面だけでなくメンタル面も含めた、心身の健康管理対策を充実するため、定期健康診断、特殊健康診断、人間ドック健診を実施するとともに、全職員を対象にした健康管理研修会を開催する。 1月単位の变形労働時間制を採用し、時間外勤務時間の削減、年次有給休暇の取得促進、代休の取得や週休日の振替の徹底、育児部分休業の活用等適切な労働管理のもと職員の家庭環境に配慮する。</p> <p>3 院内保育施設の充実 育児中の女性医師が夜間の診療業務に従事する際には、夜間保育を実施する等の対策を講じる。 また、第2、第3土曜に実施している「土曜保育」について、継続して実施する。</p>	<p>1 職員の就労環境の整備 ○医師事務作業補助者(医療クラーク)の雇用による医師の負担軽減 医師事務作業補助者による診断書の下書き・病名代行入力・着任医師に対する電子カルテ作業説明、退院サマリの作成補助、各種登録事務などにより、医師の事務負担を軽減し勤務環境の改善を図った。 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>24名</td> <td>23名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>182名</td> <td>185名</td> <td>185名</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>8名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 職員の健康管理対策の充実 健康管理対策実施状況 【健康診断関係】 ○定期健康診断 受診数 163名 ○特殊健康診断(有機溶剤) 受診数 6名 ○特殊健康診断(深夜業務・X線) 受診数 173名 ○人間ドック 受診数 135名 ※以上常勤職員について記載 【健康管理セミナー】 ○「ストレッチとハツラツ体操」 市内で運動療法を指導するインストラクターを講師に招き、職員の疾病予防及び心身の健康づくりのために、効果的なストレッチを取り入れた体力づくりについて講義と実践指導を受けた。 開催日：10月1日 開催場所：下呂市アクティブ 出席人数：36名</p> <p>3 院内保育施設の充実 ○院内保育所 幼児を持つ病院職員が働きやすい環境整備に努め、27年度は9名の幼児を受け入れた。 また、平成24年6月から制度化された土曜保育は、毎回利用者があり、病院職員の勤務体制確立の一役を担っている。 【院内保育所の運営状況】(各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所児童数</td> <td>17名</td> <td>10名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	常勤医師数	24名	23名	19名	常勤歯科医師数	2名	2名	2名	常勤看護師数	182名	185名	185名	常勤准看護師数	1名	1名	1名	医療クラーク	8名	6名	6名	看護クラーク	—	—	—		25年度	26年度	27年度	入所児童数	17名	10名	9名	保育士数	4名	4名	4名	III		医師確保の対策を講ずる必要がある。
	25年度	26年度	27年度																																										
常勤医師数	24名	23名	19名																																										
常勤歯科医師数	2名	2名	2名																																										
常勤看護師数	182名	185名	185名																																										
常勤准看護師数	1名	1名	1名																																										
医療クラーク	8名	6名	6名																																										
看護クラーク	—	—	—																																										
	25年度	26年度	27年度																																										
入所児童数	17名	10名	9名																																										
保育士数	4名	4名	4名																																										